

1 調査対象 子ども条例検討委員を除く参加者156名

2 回答数 104名(回答率67%)

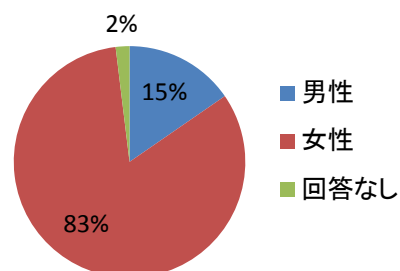
3 回答割合の算出

回答割合(%)は回答者人数を100%として算出し、小数点以下第1位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。

4 あなたについて教えてください。

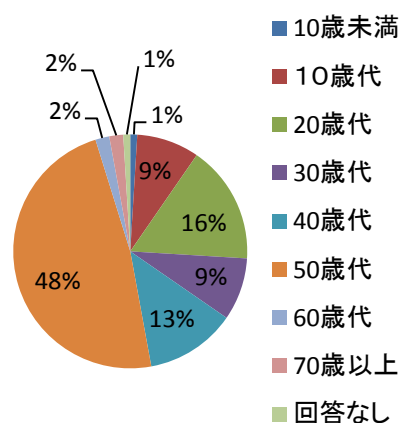
①性別

	人	割合
男性	16	15%
女性	86	83%
回答なし	2	2%
計	104	100%



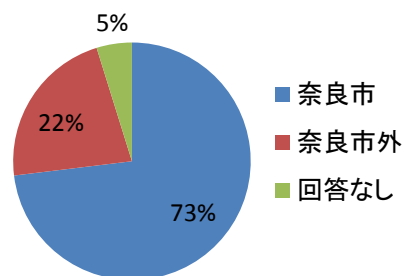
②年齢

	人	割合
10歳未満	1	1%
10歳代	9	9%
20歳代	17	16%
30歳代	9	9%
40歳代	13	13%
50歳代	50	48%
60歳代	2	2%
70歳以上	2	2%
回答なし	1	1%
計	104	100%



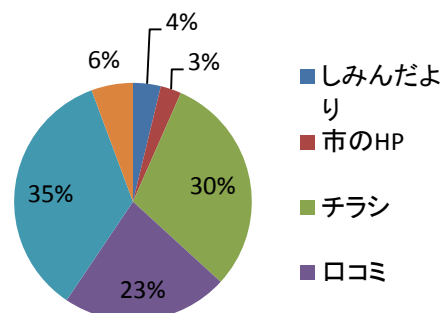
③居住地

	人	割合
奈良市	76	73%
奈良市外	23	22%
回答なし	5	5%
計	104	100%



①このシンポジウムを何でお知りになりましたか。(複数回答)

	人	割合
しみんだより	4	4%
市のHP	3	3%
チラシ	32	30%
口コミ	24	23%
その他	37	35%
回答なし	6	6%
計	106	100%

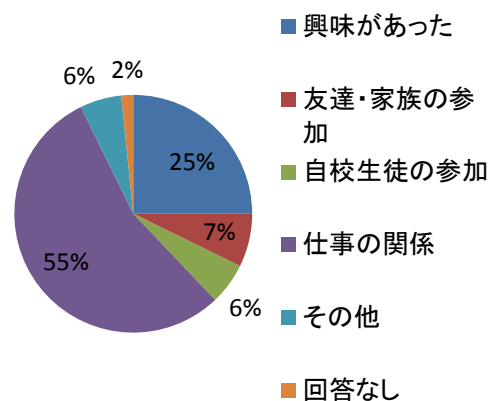


◇その他内訳◇

	人	割合
生徒より	1	3%
市役所からの手紙 (ワークショップ参加者)	7	19%
メール	1	3%
子どもが参加	1	3%
校長先生のお誘い	3	8%
学校からのプリント	1	3%
校園長会	2	5%
職場	9	24%
回答なし	12	32%
計	37	100%

②参加したきっかけは何ですか。(複数回答)

	人	割合
興味があった	31	25%
友達・家族の参加	9	7%
自校生徒の参加	7	6%
仕事の関係	68	55%
その他	7	6%
回答なし	2	2%
計	124	100%

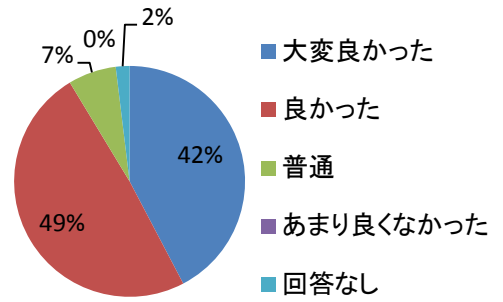


◇その他内訳◇

	人	割合
先生のすすめ	2	29%
親のすすめ	1	14%
ワークショップへ参加したから	1	14%
意見交換できるから	1	14%
将来の夢を実現するためになると思ったから	1	14%
大人と子どもの応答する場を一度見てみたかったから	1	14%
計	7	100%

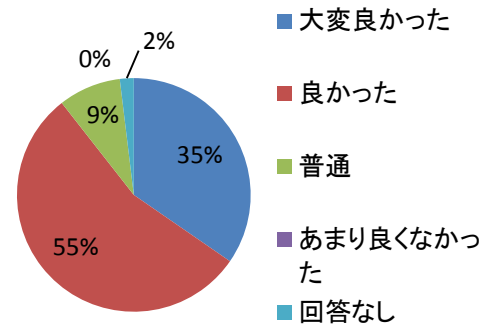
③基調講演について

	人	割合
大変良かった	44	42%
良かった	51	49%
普通	7	7%
あまり良くなかった	0	0%
回答なし	2	2%
計	104	100%



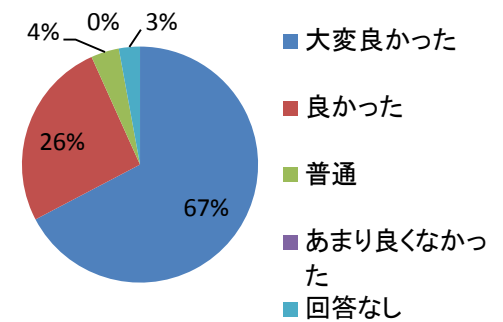
④子ども条例検討の結果報告について

	人	割合
大変良かった	36	35%
良かった	57	55%
普通	9	9%
あまり良くなかった	0	0%
回答なし	2	2%
計	104	100%



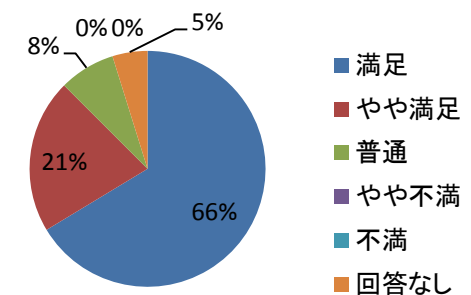
⑤子どもワークショップ参加者と市長、子ども条例検討委員との意見交換について

	人	割合
大変良かった	70	67%
良かった	27	26%
普通	4	4%
あまり良くなかった	0	0%
回答なし	3	3%
合計	104	100%



⑥このシンポジウムの内容についてご満足いただけましたか。

	人	割合
満足	69	66%
やや満足	22	21%
普通	8	8%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
回答なし	5	5%
計	104	100%



(6)その他、ご意見・ご感想があればお書きください。

★10歳未満(女性)

学校の先生にももっと意見を聞いてもらいたいと思いました。

★10歳代(男性)

奈良を良いまちにできたらいいなと思いました。

★10歳代(女性)

私は中学二年生です。ワークショップで前に出ている方々がおっしゃっていましたが、この広い場所だと話しにくいので地域の公民館などを利用して少人数制で何回かやっていただきたいです。

もう一度このようなシンポジウムがあったら呼んでください！

子どもと大人が、自分の意見をしっかり言っているところがすごいなと思いました。子どもが言った意見が採用されて、教育委員会に話されていることは良いことだと思います。

意見交換がすごく良かった。楽しかった。私だけでなく、子どもがみんな自分なりの意見があることがわかってよかった。

木下先生の意見ですが、先生をあだ名で呼ぶというのは私自身はなじみやすいし、いいと思うんですが、親は「そんなの大人に対して失礼や！」って言います。テレビでも「MAX敬語に直しなさい」みたいな番組もあり、今の若者は敬語を使えていないというのも現状です。どちらが正しいのでしょうか？

★20歳代(女性)

子どもワークショップ参加者のみなさんの気持ちにとっても共感しました。私自身、子どもの気持ちを忘れずに、子どもの思いを尊重して保育をしていきたいと学ぶことができました。

中学生からの不満が多く、市長側が受け入れる形が多かったように思います。もっと、大人や教育関係が苦労・努力している内容を伝えてほしいです。

中学生の子どもたちの意見が面白く、強い思いを感じました。子どもたちの思いをしっかり聴いていきたいと思いました。

中学生のみなさんの発言の堂々とした姿に、奈良の未来に少しは光があるのかなと感じました。未就学児の意見も大切にしなければならぬということが何度かでていました。5才児に市長と対話して思いを伝えさせるのは難しい部分もあるかと思いますが、現場では子どもたちの意見を最大限に引き出して、時には、市長とのかけはしになりながら、子どもに住みよいまちを作りたいと思います。子ども・歴史・自然をずっと大切にできるまちでありますように。

今の子どもたちの考えや意見を聞ける機会が普段少なく、とても良い時間でした。この内容を周りに広め、他の子どもたちはもちろん、地域の大人たちも知り、一緒にワークショップに参加していけたらと思いました。

子どもたちの意見を聞いて、とても新鮮な気持ちになりました。子どもと、大人と、一緒に考えるということ、とても大切だと思います。

子どもの素朴でまっすぐな意見にとっても心響きました。少し前まで学生だった私も、もうすでに忘れかけていた気持ちを思い出すことができました。また、子どもシンポジウムがあれば参加させていただきたいと思います。

子どもの素直な意見を聞いて、歳があまりかわらなくても、忘れていた気持ちがあると改めて思った。共感できることもたくさんあった。

★30歳代(女性)

今日は貴重なシンポジウムに参加させていただきありがとうございました。本当に納得いく話し合いだと思いました。今の職場でも不満もあります。仕事内容に差があり、教諭の先生が全然で、私たちにまかせきりなどがあります。たくさん給料をもらっているのだから、しっかりとそれ以上の仕事をしてほしいと思う。納得いかない。正規になれば適当にしてもいいのですか？

★40歳代(男性)

見ている分には楽しかったですし、参加した子どもたちは真剣に考えて話し合うのは価値があったと思います。ただ、サンプルが少なすぎるし、参加している子どもに偏りがあるので、参考意見とするにはどうかなと感じました。もっと広くたくさん意見を集められたら、子どもの切実な願いが出てくるかもしれないと思いました。
具体的なテーマをもって子どもと大人が話し合えるように！
是非、奈良市内全ての子どもたちが関われる取り組みに広げてほしい。

★40歳代(女性)

今日のシンポジウムに参加されている学校名には偏りがありますが、どのようにして決められましたか。あらためて参加し、市長の言われた「地域ごとに話しあえる場を作る」ことはとても良いことだと思います。話し合うテーマによっては、生活背景や地域色が反映することもあるので、まず同じ地域の環境のたくさんの人と、いろいろな価値観のもとに話をし、その後、各地域の代表が集まり意見を交換するのであれば良いかと思いました。テーマの設定難しいですね。子どものうちから発言すること、そして、見えていないつながりを知る機会を大切にすることは必要だと思うので、こういう話し合いを大切にしてほしいです。
子どもたちの意見を聞くことは大切だと思いますし、子ども同志が話し合うのはいい機会だと思います。しかし、聞く大人がどう返していくかで、やっぱりうまくいかない、言ってもムダだと絶望して口を閉ざしていくのではないかと思います。仲川さんがおっしゃっていたようにコミュニケーションが大切です。
子どもを一つ(一人)の人格として扱っていたのかどうか考え直す良い機会を得れました。大人のなかでも、力のある人の言いなりになってしまうことも多くみられる社会でもあるかと思っています。逆転させてほしいという思いには共感できました。参加させていただいてよかったです。ありがとうございました！
子どもといえども真剣に考えているんですね！
今後とも関心を持ち続けたいと思います。
子どもたちの姿が良かったです。子どもの思い・声を聞くことが、奈良に若い人が戻ってくる一つの要因になると思います。自分の育った奈良が素晴らしかったら、奈良での幼いころの気持ちや記憶が良かったら、我が子にも同じ教育を受けてほしい、同じ思いを抱いてほしいと思い戻ってくると思います。「なら」独自のものを期待します。(自慢できること・・・TVケンミンショーで奈良が殆どないのも悲しいです。)
ワークショップやアンケート、意見の収集などは奈良市内全域の学校で行い、子どもたちにも、参画しているという自信をもって、意見を言える場をつくり続けてほしい。

★50歳代(男性)

もう少し時間があればよかった。
子どもたちの真剣さ、奈良市への思いをひしひしと感じた。
学校施設や授業に対する子どもワークショップの意見には、特に教員の一人として考えるべき内容を含んでいたと思います。
日常の生活の場である学校現場で子どものこのような活動を活かさないのか。検討できないか。

★50歳代(女性)

子どもの視点の素晴らしさ、そこを大切にしていきたいです。
子どもたちのすばらしい発想、考え、楽しく聞きました。ワークショップを開会されていることも今日知りました。すてきな取り組みだと思います。
大々的に今回の開催をアピールすべきなのと、子どもたちの意見を取り入れて改善できたこともアピールしてやればみんな(市民)も、考えたり意見を言ったりすると思います。地域で地域のことを子どもたちレベルで(同志で)話し合うという発想がよかった。

<p>これからの時代を担う子どもたちが、奈良に興味関心をもち、自分の意見を言いつつ、人の話にも耳を傾け育ちあう良い機会だと思いました。どのようにしたら参加というところに「おかし」という意見もありましたが、子どもたちが豊かな感性をもち、自分の意見をしっかりもち、言える子どもを育てていくことも大切だと思います。いま、その場に立ち会っている私は、あまりにもそのことに乏しい施設環境であることを思うと、市長にはその部分を考えて、豊かな子どもの育ちを保障していただくことも大切ではないかと考えました。</p>
<p>大人と子どもがフラットな関係で意見が述べられる場があることが大切だと思う。</p>
<p>親の子育てのしんどさ、つらさを支援する条項もぜひ取り入れてください(泉南市の子ども条例にあります。)</p>
<p>市長さまが言っておられたように「子どもだから」ではなく一人の人間としていろいろな意見を聞くことは大切だと思います。このシンポジウムに参加して普段の私の考え方(見方も)を(子どものみならず)見直すのにより機会になったと思います。ワークショップで自由に思い、意見を言うことの大切さを感じました。奈良のことをもっと知る・考える・興味をもつことを考えるよい機会になりました。ありがとうございました。</p>
<p>子どもたちの意見の真剣さ、良いアイデアをもっていることに驚きました。様々な意見を聞き入れることの大切さを感じました。ありがとうございました。</p>
<p>子どもワークショップの中学生の生徒さんのしっかりとした意見を聞かせてもらいとても良かったと思います。</p>
<p>生徒たちの意見がよくわかった。</p>
<p>初めて参加させていただきました。とても良い経験になりました。ありがとうございました。子どもたちが自分の思いを、説得力のある話をしている姿を見て感心しました。と、同時に、大人と対等に話す機会をつくることで、自分を表現する力がつくのかとも感じました。私は保育に携わっていますが、自分を大切に思い、相手を大事にし、自己表現をしっかりできる子どもたちが育つよう力を尽くしたいと感じました。ありがとうございました。</p>
<p>子どもシンポジウムに、もっと多くの子どもたちの参加できる機会がくれたらいいのにと感じました。子どもに発言の機会を多くもてるようにという市長の言葉に感心しました。</p>
<p>子どもたちの素直な意見に感銘した。この気持ちを失わず大人に成長してもらうためには我々大人が正しく生きていかなくてはいけないと思った。子どもに恥ずかしくない大人を増やしたい。</p>
<p>子どもたちの意見交換が楽しいでした。子どもたちの考えていることを知ることができて、参加したメリットがありました。奈良を良くしたい大好きにという思いを大切にしてほしいと思いました。</p>
<p>子どもたちのいろんな意見や考えを聞くことができて面白かったです。</p>
<p>子どもの視点の向け方、発想、想像性の豊かさに、改めて子どもの「チカラ」を感じた。また、忘れかけていた子どもの頃に感じた疑問を思い起こしたり、子どもの参画社会が豊かに展開できる社会づくり期待したいと思いました。</p>
<p>奈良市の子どもたちの声が頼もしく感じました。子どもの声をしっかり聞くことの大切さを感じた。</p>
<p>子どもたちがしっかりと考え、発表している姿は、とても逞しく思いました。子どもたちの夢のある提案が、どうしても大人が発言すると現実にあわせてしまうなあと思いました。</p>
<p>中学生の意見の中に、子育て支援、親をつなぐことの大切さの話がでてきました。親が名古屋に・・・その中で子どもが話を聞き、前向きな親の姿を見て、考え、育っていることを感じました。自分も保育園に戻り、職員(保護者)に子育て支援の大切さを伝え、働きかけていければと思います。また、自分の後姿をみて子どもが育つこと子育てが楽しいと感じてもらえるように、これを忘れずにいたいと思います。</p>
<p>子どもの意見や考えをしっかりと聞くというのは、改めて大切と考えました。教育の中でもどのように子どもが主体的に関わり、自分たちで進めていくという気持ちになるか、学校のあり方も見直す必要があると感じた。幼稚園の子ども意見も必要かなと思います。</p>
<p>子どもワークショップの参加者をできるだけ多く。</p>
<p>関係者の参加が多い会場より、もっと、一般の方が参加されるシンポジウムにしていきたい。庁外公開にしてもよいのではないかな。</p>
<p>学校と地域だけでなく子どもの意見も取り入れたい。</p>